

# 主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	上下水道部
	17012	公共下水道施設整備事業	課名	下水道課 下水道工務G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財務科目	会計
	基本施策	03:上下水道の充実		14:公共下水道事業会計
	施策の方向	02:生活排水対策の推進		資1:資本的支出
戦略プロジェクト	-	01:建設改良費		
事業予定期間	H 6 ~ R 17 年度	主な根拠法令要綱等	下水道法、都市計画法	
			01:管渠整備費	

② 目的・概要	対象	下水道処理区域内の市民
	目的	H27年度に県が策定した生活排水処理アクションプログラムに基づき、未普及地域での計画的な公共下水道の整備を推進し、快適な生活環境と健全な水環境を維持していくために、生活排水を適切に処理することを目的とする。
概要	未普及地域での公共下水道整備を推進するとともに、施設の適正な維持管理を行う。	

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○管渠設計委託 一式 ○管渠工事 一式	○管渠工事 一式	○管渠工事 一式	
	年度実績	○管渠設計委託 面積 A=172.3ha ○管渠工事(ポンプ設置含む) 管渠工 L=4,919.3m	○管渠工事(ポンプ設置含む) 管渠工 L=2,747.0m		
事業費	計画額	事業費	650,000千円	600,000千円	550,000千円
		国庫支出金	248,000千円	234,000千円	184,000千円
		県支出金			
		地方債	329,400千円	329,400千円	329,400千円
		その他			
	予算額(※)	事業費	644,000千円	552,080千円	
		国庫支出金	248,500千円	242,032千円	
		県支出金			
		地方債	350,500千円	300,300千円	
		その他			
	決算額	事業費 ①	594,807千円	552,080千円	
		国庫支出金	231,500千円	242,032千円	
		県支出金			
		地方債	321,800千円	300,300千円	
		その他			
人件費	一般財源	72,600千円	36,600千円	36,600千円	
	総人件費 ②	30,716千円	31,132千円		
	一般職員	30,716千円	31,132千円		
	所要人員	4.00	4.00		
	臨時職員等	0千円	0千円		
総コスト(①+②)		625,523千円	583,212千円		
受益者負担率		0.0%	0.0%		

		平成29年度	平成30年度	令和元年度
④ 指標	① 名称 汚水処理人口普及率 各年度末の普及率(汚水処理人口/総人口)	計画値 87 実績値 88 単位 %	88 88 %	89 % %
	② 名称	計画値 実績値 単位		
	③ 名称	計画値 実績値 単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 国より早期の事業完了を求められており、財源確保、効率的な計画への見直し検討を実施していく必要がある。経済的で効果の高い技術手法の情報収集に努め、現計画の見直し検討を進める。また、事業についての住民理解を深め、円滑な事業進捗と財源確保を図る。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 計画の見直し検討に着手し、作業スケジュール案を作成した。研修会等に積極的に参加し、実現可能な工法、手法等の情報収集を実施した。 また、事業地での住民説明会を開催し、事業の普及啓発に努めた。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 計画どおりの国庫補助金の交付を受け、下水道未普及地域において約2.7kmの管渠整備を実施し、整備(供用)面積で27.6haの下水道整備ができた。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 本年度の管渠整備は主要な幹線の整備が多く、市内の公共下水道普及率は52.4%から52.9%と0.5%の上昇にとどまり、農業集落排水と合併浄化槽を合わせた汚水処理人口普及率については計画どおりの目標を達成することができたが、年度での伸び率は低かった。(H29:88.0%、H30:88.2%、伸び率0.2%)	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 三重県生活排水処理アクションプログラムの見直しが次年度に予定されており、それに併せて、早期の事業完了、持続的な汚水処理システムの構築に向けた事業計画の見直しを検討していく必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 事業計画の見直しにあたり、経済的・効果的な整備手法等の情報収集、導入検討を図る。 また、汚水処理計画の変更等については、地域住民の理解が不可欠であり、意向調査等を実施し、見直しに必要な業務を進める。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 持続可能で早期汚水処理完成に向けた事業計画を策定し、快適な生活環境と健全な水環境の維持を図る。	
対応時期		令和元年度	

【1次評価者】	上下水道部 下水道課 下水道工務グループリーダー 黒田 康史
【最終評価者】	上下水道部 下水道課長 松尾 敏

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B			
	成果	B	B			

※平成30年度予算額(事業費)の内訳について

予算額(事業費)		552,080 千円
内訳	平成29年度からの繰越額	55,000 千円
	平成30年度最終予算額	600,000 千円
	令和元年度への繰越額	△ 102,920 千円